

2022年度ジュニア育成地域推進事業
練馬区学童野球連盟第20回新人戦

実施要項

目的	次年度の主力を担う選手5年生以下2年生迄の連盟加盟チームの参加によるトーナメント戦を開催する。
主催 主管	東京都／公益財団法人東京都体育協会／公益社団法人練馬区体育協会 練馬区学童野球連盟
参加資格	1. 選手登録は、連盟に加盟登録している小学2年生～5年生 2. 選手10名以上20名以内（監督・コーチ2名・スコアラー1名除く） 3. 合同チーム参加可能・条件 ① 合同チームを編成しチーム名を登録すること。（1チーム10名未満に限る。） ② 所属チームのユニフォームで出場し背番号の重複を認める。 ③ 監督・コーチも所属チームのユニフォームで出場可能ですが、背番号の重複は不可。 ④ メンバー票提出時は、氏名の後に所属チームを記載すること。 ⑤ 選手の背番号は、連盟試合規定と同じ1～20番とする。（但し 合同チームは、重複可）
日程	10月9日（日）より11月13日（日／予定） 天候及び会場の事情により日程等が変更される場合があります。
表彰	優勝チーム 賞状・優勝旗・優勝杯・メダルを授与 準優勝チーム 賞状・準優勝杯・メダルを授与 3位 チーム 賞状・盾・メダルを授与
試合会場	大泉学園少年野球場、石神井松の風文化公園、希望ヶ丘グラウンド
開会式	10月9日 大泉学園少年野球場
参加費	無料（試合方式＝トーナメント戦）
抽選会 （代表者会議）	日時：2022年10月2日（日）午後4時開始（3時30分受付開始） 会場：練馬区立石神井松の風文化公園管理棟内会議室 ※近隣チームは車でのお来園はご遠慮ください。
その他 申込方法	参加各チームはスポーツ安全保険に加入すること。 練馬区学童野球連盟HP/申請書書類ダウンロード登録票は、エクセルデータを 9月25日（日）までに提出すること。 （リーグ長経由で事業部長に提出：期間厳守）

大会役員

大会会長：高田公二

大会副会長：山田幸平、大北幸弘、尾崎晋

実行委員長：井本重喜

実行副委員長：伊藤武司、山縣泰彦

実行委員：幸田隆吉、羽石謙二

大会審判長：宇津野茂

大会副審判長：青木康郎、田中好浩

令和4年 新人戦大会 競技上及び審判上その他注意事項

■本大会は2022年度公認野球規則、全軟連規則を適用します。但し次の規定を優先する。

① 試合イニング

試合は、6回戦とするが試合開始後1時間30分を経過したら5回以前でもその会を最終回とし、新しいイニングに入らない。

② コールドゲーム

4回以降時 8点以上の得点差がついた場合は、コールドゲームとする。(決勝戦は除く。)

③ 特別継続試合

制限時間内で日没、降雨などにより5回以前に中止になった場合は、後日、継続試合として行う。

また、5回を過ぎて同点で試合が中止になった場合も後日、継続試合として行う。

④ タイブレイク方式

6回完了、若しくは試合開始から1時間30分を経過して同点の場合はタイブレイク方式を行う。

継続打順で前イニングの最終打者を一塁走者、その前を二塁走者として無死一塁・二塁の状態で開催戦を行う。

タイブレイク方式は1イニング行い、その時点で勝敗が決定しない場合は、もう1イニング同じ条件で行う。

それでも勝敗が決定しない時は抽選で勝敗を決定する。

⑤ 出場資格

連盟に加盟登録している2年生から5年生までの単独チームとするが、1チーム10名以下の場合には、同様の他チームと編成して合同チームとして参加を認める。

⑥ 投球回数制限

投手はタイブレイクも含め1日70球(5年)とする。4年生以下の場合には、60球までとする。

⑦ ベンチ入り

ベンチ入りは、登録された監督、コーチ2名、スコアラー、と選手20名以内とする。但し、熱中症対策として保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。(但し、チームスタッフを除く。)

⑧ 使用球

ナガセケンコーJ号とする。全試合連盟より支給とする。

⑨ 用具等

試合中、打者、走者、次打者、ベンチコーチは公認の両耳付きヘルメット、捕手は、公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファールカップ(男子のみ)を着用し、バットは、公認マーク入りを使用する。ベンチ内での電子機器(携帯電話、パソコン、カメラ等)の持ち込み禁止としメガホンの使用は、1個のみ監督、コーチの使用を認める。但し電子スコア記録用としての電子機器は認める。

⑩ その他

- (1) 抽選番号の若いチームが一塁側とする。(決勝戦は除く) 先攻、後攻はジャンケンで決め、シートノックは、行なわない。
- (2) 試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー票4部を提出すること。
- (3) 次の試合の先発バッテリーは、前の試合開始90分を経過後にグラウンド内での投球練習ができる。
この際、指導者が捕手として投球を受け、投手の安全管理を目的として選手が付き添いを行うこと。
- (4) 投手の準備投球は、初回が5球以内とし、次回からは3球とする。
- (5) 両チーム指導者は、試合終了後にグラウンド整備を行うものとする。
- (6) 本大会参加は全員「スポーツ安全保険」に加入することが参加の条件となります。
- (7) 極端に攻撃が長引いた場合は選手の体調を考慮して主催者・審判員は適時給水タイムを取らせることとする。
尚、給水タイムは試合時間に含めない。気温条件にもよるが、守備時間15分を目安とする。
- (8) ベンチではマスク着用を基本とするが、気温の高い日は熱中症防止のため任意とする場合があるので審判員の指示に従うこと。
- (9) 相手チームへの野次や品位のない言動及び選手への恫喝、暴言は認めない。注意を受けたにも関わらず続けた場合は審判員の判断によりチーム責任者とし、監督を退場とする。

練馬区学童野球連盟 大会開催・期間中の感染予防対策の施策

★各チーム選手・監督コーチ、スコアラー、給水担当

1. 自宅を出る際に検温を行い風邪症状の有無、だるさ・息苦しさの有無、味覚症状を確認する。
※大会本部に健康チェックシート提出(試合ごとに)
 1. で症状がある場合および以下の場合(体温37.5度以上等)は出場(チーム)を取りやめる
・同居家族や親近に新型コロナウイルス感染が疑われる人がいる
2. 試合会場に着くまでおよび会場内(試合開始前待機中など)はマスクの着用を義務付ける。
3. 人との距離をある程度確保し、ベンチ内でも距離を保つようにする。
4. 試合前、試合中、試合後は、声出し・応援を行わない。
5. 試合開始15分前に集合し、待機中のミーティング、更衣、食事を禁止する。
試合終了後は、速やかにグラウンド外に出て帰る準備をする。
6. 試合登録選手のマスクは任意とする。監督およびベンチ内のスタッフは全員着用とする。
7. ベンチ外の応援は密集・密接にならないよう、大声の応援も行わない。
8. チーム共用のジャグの使用を禁止する。
9. 試合中の審判へのお茶出しは行わない。

★大会運営側の対応

1. チームから提出された『大会参加者 健康チェックシート』の確認を行う。
また、試合チームから『来場者 健康チェックシート』を受け取り確認を行う。
2. 大会運営者、審判員は本部席にある健康チェックシートへの記入を行う。
3. 試合会場に消毒液を常備する。(連盟準備)
4. 試合間のインターバルを通常より長く設ける。
5. 大会運営は、慣例・慣習にとらわれずに試合に影響がない事項では密集を避ける。
6. 感染者発生の報告を受けた場合、大会本部経由で練馬区体育協会に報告し、二次感染防止を徹底する。
7. 試合後2週間以内に万が一感染症を発症した場合、連盟に濃厚接触者の有無等を報告する。
8. 審判クルー、記録員、控え審判はマスクを着用する。
9. 先行、後攻を決める際、選手同士の握手は行わないようにする。
10. 試合開始、終了の整列、挨拶については、ベンチ前で行う。
また、終了後の他チームへのエール交換は行わせないようにし速やかにグラウンド外に出るよう誘導する。
11. 施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。

2022

令和4年度ジュニア育成地域推進事業 練馬区学童野球連盟・第20回新人戦大会開会式



2022年度 第20回 新人戦大会要項

開会式日 令和4年10月9日(日)【試合日程=10月9日(日)~11月13日(日)予定】

集合時間 [役員] 8時00分

[選手] 8時30分~9時00分

入場開始 午前 9時30分

開会式場 大泉学園少年野球場

※雨天の連絡は例年通り第一報は7時15分に、後は随時連絡。

※会場駐車場は第三リーグ除く1チーム1台厳守。

その他の車両は会場周辺の一般の有料駐車場を利用してください。

※雨天中止の場合は、開会式は中止とし翌日10日(祝)よりトーナメント戦を開始します。

主催=公益社団法人練馬区体育協会・公益社団法人東京都体育協会・東京都

主管=練馬区学童野球連盟

今大会は東京都のスポーツ水準の向上を図り、地域におけるジュニアスポーツの普及とジュニア選手の発掘及び育成を推進する目的で、練馬区体育協会並びに東京都体育協会と東京都のジュニア育成事業として頂いています。

■開会式・次第

只今より令和4年ジュニア育成地域推進事業 第20回練馬区学童野球連盟・新人戦大会を開催いたします。

* 選手入場	先導指導・先導	司会=羽石謙二/アナウンス= さん
* 日章旗・連盟旗旗手紹介		・連盟審判部
* チーム・監督紹介	司会進行担当	前年度 Best8 チーム主将
* 日章旗・連盟旗掲揚	担当：審判団	アナウンス (さん)
1 開会宣言	実行委員長	連盟審判団員
2 優勝旗・優勝杯返還	前年度優勝 レプリカ贈呈	井本重喜・連盟理事長
3 準優勝杯返還	準優勝 レプリカ贈呈	北原少年野球クラブ
4 主催者挨拶	練馬区体育協会	ドルフィンズ
5 大会会長挨拶	主管連盟会長代理	高橋かずみ様
6 来賓紹介	司会進行担当	高田公二・連盟副会長
7 審判長注意	大会注意等	各協賛団体様
8 選手宣誓	前年度優勝チーム	宇津野 茂・連盟審判部長
9 始球式		北原少年野球ラブ・(主将/武田俊輔君)
10 閉式通告	大会副会長	様、 様、 様
11 選手退場	審判部	尾崎 晋・連盟副会長

■注意【参加チーム監督は、会場到着後速やかに本部で受付し追加登録がある場合は、提出をお願いします。】

- 会場到着後、グラウンド内に集合し密にならないように審判団の指示に従うこと。
- 1チーム2列で背の高い順に整列し、キビキビと行進すること。
- 球団旗、プラカードは選手が持ち行進すること。
- 行進後は、足踏みを止めて座ること。全チーム行進後に起立して始めます。
- 球団旗の集合のもとに、選手宣誓を行う。
- 監督紹介は、ユニフォームを着用し、一塁側に2列に整列して行うこと。
- 選手退場は、審判部の指示に従うこと。

■大会運営

大会会長	副会長	高田 公二
大会副会長	顧問	山田 幸平
	顧問	大北 幸弘
	顧問	尾崎 晋
実行委員長	理事長	井本 重喜
本部	副理事長	山縣 泰彦
	副理事長	伊藤 武司
	総務部長	羽石 謙二
	事業部長	幸田 隆吉
審判長	審判部長	宇津野 茂
司会進行	総務部長	羽石 謙二
経理	経理部	川手 健生
行進・選手先導	審判副部長・審判部	青木 康郎/田中 好浩
受付	総務部・事業部・経理部	各部長・各リーグ長
大会運営責任者	副理事長	伊藤 武司

■役割分担

球場設営	担当 [伊藤武司・副理事長/幸田隆吉・事業部長]
放送設備	担当 [丸山昇・理事/松延隆行・理事/久保田賢・理事]
駐車誘導	担当 [稲見伸彦・事業副部長/小菅哲男・理事/八十島護・理事]
集合・スタート	担当 [宇津野茂・審判部長/各リーグ審判長・審判部]
進行整備	担当 [青木康郎・審判副部長/審判団]

2021 Best 8	【日章旗旗手】	1 北原少年野球クラブ(君)	【連盟旗旗手】	5 みどり少年野球クラブ(君)
		2 ドルフィンズ(君)		6 野牛ファイターズ(君)
		3 上北小野球部(君)		7 大六ハリケーンズ(君)
		4 大泉桜ファイターズ(君)		8 泉新橋戸ライズ(君)